

『入所施設について思うこと』

施設入所支援課 管理課長 中島 正寛

今年度から始まる国の「第6期障害福祉計画」では、「入所等から地域生活への移行、地域生活の継続の支援、就労支援等の課題に対応したサービス提供体制の整備」が謳われています。それを受け、香芝市の「第6期障害福祉計画」には、入所者の6%の地域移行が掲げられています。

これは、1980年代から広まったノーマライゼーションの考えから始まったもので、21世紀に入り地域移行の流れは加速的に進みました。その結果、2018年度にはグループホームの利用者が施設入所者と同数に達しました。しかし、移行できた方は身体障害者や中軽度の知的障害者で、重度の方や高齢者は取り残され、国の地域移行政策は行き詰まりを見せていました。その中、センサーショナルな事件として起こったのが相模原殺傷事件です。事件の詳細には触れませんが、この事件は今まで覆い隠されていた様々な不都合を表舞台に引き出したものと私は考えております。

重度の方への公的支援は、1960年に精神薄弱者福祉法ができるまで皆無に等しい状況でした。その為、差別を恐れながら家で暮らすか、精神科病院（当時は精神病院）に入院するしか無く、追い込まれた親が子を殺したり、心中する悲惨な事件も起きていました。その対策として、重度の方が生活する施設が全国で開設されていきました。当時は、施設の中で暮らすことが幸せだと考える人が少なくなかった時代でした。時代が流れ、地域移行がこれ程議論されているにも関わらず、2017年に閉鎖を宣言した金剛コローは850人から465人に定員を減らし存続しています。2002年に宮城県の浅野知事（当時）は施設解体を宣言しましたが、入所者家族の反対で定員を増やして新改築となりました。ゆらくの里にも月に1件以上、入所希望の問い合わせが有ります。

当然、問い合わせをされるご家族さまだけでなく、入所しておられる方のご家族さまも地域での生活を望んでおられることと思います。それが難しい故、施設を選択せねばならない現実、この中で我々ゆらくの里の職員ができることは、障害を持つ方が安心して住み続け、ご家族さまも安心して預けていただける施設を目指すこと『入所施設も地域の社会資源の一つである』と考えております。

ご存知の方もおられるでしょうが、ゆらくの里は夏に改築工事が終了し新しい生活が始まりますが、新生ゆらくプロジェクトとして、「ご利用者さまも職員も楽しいゆらく」をコンセプトに次の取り組みを計画しております。一日を通じた活動を行い、その中で外出の機会を増して行きます。次に毎日の入浴ができる様に準備しております。更に高齢の方には、EMS（Electrical Muscle Stimulation…電気を使って筋肉を刺激し、収縮させるエクササイズ器具）を導入し、運動能力の向上を目指します。支援に関してもスキル向上を図る為、Special Learningというオンラインで学べる研修を導入し、同時にこれまでの個別の担当制からグループでご利用者さまの日々の生活を支援させて頂く形も進めております。

施設での暮らしが少しでも「普通の生活」に近付く様、またそれ以上のものになる様に邁進してまいりますので、今後益々のご理解とご支援を夜勤者が賜りますようお願い申し上げます。



《令和3年度 法人方針》

「変化と考働」の継続

REBORN & RESTART IWAKI

平成30年度事業計画策定の際に、「5年後のイメージ」として『中長期計画』を職員、理事をはじめ役員等へ提示しました。提示した「5年後のイメージ」をもとに、令和2年度は以下のとおり実行してきました。

令和2年度は「変化と考働」という方針のもと、

- ①意識改革
- ②収益意識の向上
- ③事業再編の為の現状分析

以上の3点に重点を置き、事業企画推進室「アジト」に松本部長を迎え、理事長の活動拠点をボノビルに移し、各種プロジェクトの企画実行を共に実施してきました。

「意識改革」については、毎週月曜日に幹部の定例会議を実施し、幹部の意識改革に着手しました。その意識改革の根源となる「収益意識の向上」については、税理士による損益分岐点の講義やSWOT分析の実施から始めました。「事業再編の為の現状分析」では、赤字部門の課題整理と黒字部門をさらに伸展させる為の取り組みを次年度予算に反映させています。幹部にとってこれまで取り組めていなかったことも多く、まさに方針のとおり「考働」を実行してきました。

次年度は、令和2年度に取り組んできた事を継続しながら成長を遂げ、夏に新棟が完成し、開所を迎える「新生ゆらくの里」を起爆剤として、障がい福祉事業を行う法人としての確固たる基盤を再構築する年度とし、

「変化と考働」の継続 REBORN & RESTART IWAKI

を年度方針として各事業黒字を目指し頑張っ参ります。

《令和3年度 予算》

令和3年3月開催の理事会及び評議員会におきまして、令和3年度予算を承認いただきました。

社会福祉事業区分 資金収支予算書

(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日

(単位:円)

		勘定科目	予算額	備考
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	45,301,900	
		障害福祉サービス等事業収入	865,723,500	
		経常経費寄付金収入	870,300	
		受取利息配当金収入	1,300	
		その他の収入	3,582,000	
	事業活動収入計(1)		915,479,000	
	支出	人件費支出	564,276,600	
事業費支出		91,924,700		
事務費支出		50,757,700		
就労支援事業支出		39,550,700		
支払利息支出		1,737,500		
その他の支出	3,227,000			
事業活動支出計(2)		751,474,200		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		164,004,800		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	305,400,000	
		施設整備等収入計(4)	305,400,000	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	25,008,000	
		固定資産取得支出	305,540,000	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	672,000	
施設整備等支出計(5)		331,220,000		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△25,820,000		
その他の活動による収支	収入	その他の活動収入計(7)		
		長期運営資金借入金元金償還支出	4,254,000	
	支出	積立資産支出	43,400,000	
		その他の活動支出計(8)	47,654,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△47,654,000		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)		90,530,800		

アート活動「アトリエ それいゆ」便り

絵画サークル・アトリエそれいゆ
岡橋 三起子

新型コロナウイルス感染症が世界中で流行して1年が過ぎ、ワクチン接種が始まりました。その中で、ようやくアトリエそれいゆの活動再開が実現しようとしています。この春までの取り組みの軌跡をご紹介します。

■ 「第30回全日本アートサロン絵画大賞展」入選（全日本アートサロン絵画大賞展実行委員会・産経新聞社 主催）

アトリエそれいゆの山口裕樹さんの作品「silence-静寂-」が、「第30回全日本アートサロン絵画大賞展」に入選しました。この展覧会は、絵を描くことを楽しみとする方を対象に、絵画ファンの拡大を目指しています。今回、山口さんが応募されたのは「自由表現部門」で、墨汁と水彩を使って心象風景を表現されました。作品の良いところを見出してくださった篠先生、日比野先生、山本先生、ありがとうございました！

〈東京展〉 会期/2021年2月4日(木)～15日(月) 会場/国立新美術館 展示室1B

〈大阪展〉 会期/2021年3月2日(火)～7日(日) 会場/大阪市立美術館 地下展覧会室

〈審査員〉 篠 雅廣(大阪市立美術館館長)

日比野 克彦(アーティスト・東京藝術大学教授)

山本 容子(銅版画家)

(敬称略)

山口裕樹さん「silence-静寂-」



■ プライベート美術館 参加（奈良県障害者大芸術祭実行委員会・奈良県大芸術祭実行委員会・奈良県 主催）

10都府県に緊急事態宣言が発出されている最中、今年も無事「プライベート美術館」が開催されました。実行委員会によると、直前まで開催できるかどうか迷いがあり、開催決定の知らせに、関係者一同、ホッとしたそうです。展示して下さった店舗を訪ねると、スタッフの皆さんは温かく出迎えてくださいました。今回の展示では、例年と全く違う雰囲気、コロナ禍での苦境を感じ取りました。苦しい中でも作品の良さを見出してくださった皆さんには、是非この困難な状況を乗り越えていただきたいものです。



(上)西谷光世さん「亀は万年」



(右)唯吉茜さん「火山大噴火」

■ 愛と平和と自由と多様性の種を蒔く / 弁護士 田中啓義先生 講演会（一般社団法人 blue earth green trees 主催）

2021年2月13日(土)奈良県文化会館にて、アトリエそれいゆの作品をレンタルされている登大路総合法律事務所の所長弁護士・田中啓義先生の講演会が開催され、その中で障害のある人のアート活動について、アトリエそれいゆの皆さんとの取り組みなどもご紹介いただきました。



今回開催された講演会では、田中先生の職務上のこれまでのエピソードを織り交ぜながら、環境問題への法的支援・教育現場での協働・心の専門家との協働・福祉と芸術と法のコラボ・不動産鑑定と経済・奈良ドット FM での活動など、多岐にわたるご活躍を発表されました。主催の一般社団法人 blue earth green trees さんは、活動の一環として国内外の支援団体へのドネーション(寄付)活動をされています。今回の講演会で集まったドネーションは、「特定非営利活動法人 国境なき医師団」に寄付されることが決定しています。

講演会の様子

令和3年度 入職式 4月1日

4月1日（木）、「障害者支援センターすみれの里」にて『令和3年度 入職式』を開催致しました。
今年度は2名の方が新しい仲間として入職。理事長より辞令交付を受けた後、期待と不安を胸に抱きながら、今後の抱負を話してもらいました。これからの活躍を期待しています。



令和3年度 エントランスセレモニー 4月3日

4月3日（土）、ふたかみ文化センターにて「令和3年度 エントランスセレモニー」を開催致しました。
今年度、新たに5名のご利用者を通所事業（今人2名、すみれの里1名、さぼーと2名）に迎えることが出来ました。式典では少し緊張された様子でしたが、名前を呼ばれると「ハイ！」と元気な返事をされていました。



式典終了後は、ふれあいキッチンSORAにて懇親会♪モンスター工房の特製ケーキを召し上がっていただきながら、各事業所の管理者より活動内容の紹介やスタッフとの交流、新規ご利用者やご家族同士の交流など楽しい時間を過ごしていただきました。今後は各活動を通して、ご利用者の皆様が素晴らしい時間を過ごせるよう職員一同、力を合わせて支援させていただきます。

求人情報

当法人では、現在、右記の職種の求人募集を行っております。
興味のある方は、お気軽に採用窓口までお問合せ下さい。
また、各種求人は当法人ホームページからもご確認頂けます☆



【採用窓口】

事業企画推進室〔担当/中山・西原〕

TEL：0745-51-5115（平日8時～18時迄）

採用サイト



マイナビ2022
《新卒のみ》



《募集中の職種》

- 新卒 支援員（2022年3月卒の方）
- 入所 生活支援員（パート）
- 通所 生活支援員（パート）
- グループホーム夜勤専従（パート）
- 調理補助（パート）
- ガイドヘルパー（行動援護）
- 作業療法士（正職員）
- 言語聴覚士（正職員）

〔※2021年4月20日現在〕

ナチュラルカフェ モンステラ「8周年フェア」開催！！

『ナチュラルカフェ モンステラ』はこの度8周年を迎えます♪

これもひとえに日ごろからご利用して頂いている皆様のおかげです！そこで様々なイベントを催しておりますので是非ご来店下さい。「クロッフル」という韓国発の新食感スイーツの販売を始めていまして、凄く好評を頂いております。こちらも合わせてお試し下さい！



パンとカフェの店
ナチュラルカフェ
モンステラ 8周年!

8周年フェア 5月18日～5月22日まで!

- 毎日開催!
ガラポン抽選
当たりは8枚!
目替わりでパンを
プレゼント!
- 期間中1,000円以上
お買い上げのお客様に
100円券をプレゼント!
- 8周年を迎えることかできました
誠にありがとうございます
- インスタグラム
フォローで20%OFF**
モンステラのインスタ
フォロー画面を見てください!

クロッフル 50円引き
人気商品につき数量限定!
クロワッサン×ワッフルの
新食感スイーツです。

**ナチュラルカフェ
モンステラ**
(ナチュラルカフェ・モンステラ)
(定休日) 日曜日・月曜日・祝日
〒639-0236 奈良県香芝市磯壁1-1057-3
TEL 0745-51-7107 FAX 0745-51-7103

Instagram



Croffle クロッフル

クロワッサン生地をワッフルの
型で焼いた 韓国発の
次世代スイーツ

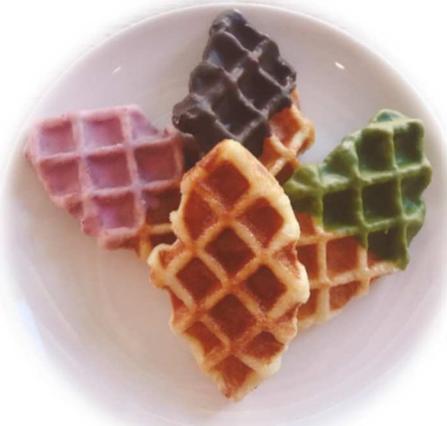
バター風味豊かで
焼いた生地が香ばしい
カリッ、サクッ、
中はもっちり。

Croffle Sweet Plate

プレーン
220円(税込)

つぶつぶいちご
ミルクチョコ
抹茶
各 275円(税込)

季節のフルーツ
ブラウンチーズ
各 715円(税込)
ドリンクset プラス165円(税込)



クロッフルとは、クロワッサン生地をワッフル型で焼いた韓国発の新食感スイーツです☆
味も4種類あり、店内でゆっくり食べられるようにフルーツを使ったデザートプレートもご用意しています。
ハマりますよ！！

🌸 新入職員紹介 🌸

ご利用者のために精いっぱい頑張ります
どうぞよろしくお祈りします



たなか まさひろ
田中 昌宏 (2月1日入職)
ゆらくの里 正職員

他法人から転職して2月からお世話になっております。働き始めてから2ヶ月が経ち、まだまだ不慣れな部分がたくさんありますが、温かく見守って頂けたら幸いです。宜しくお願いします。



まつもと
松本 はるか (4月1日入職)
はぐらいつ 正職員

利用者の方やスタッフの皆さんと一緒に笑顔になれたり、いずれは自然と笑顔を生み出し続けられる場所を創り出す一員にしっかりとなれるようにしたいです。宜しくお願いします。



いけばやし れな
池林 玲菜 (4月1日入職)
ゆらくの里 正職員

ご縁があって、ゆらくの里で勤務させて頂くことになりました。未経験で分からないことも多く、ご迷惑をお掛けするとは思いますが、精一杯頑張りますので宜しくお願いします。



たいら みつは
平 光葉 (4月1日入職)
ゆらくの里 正職員

4月からゆらくの里で勤務させて頂いております。より多くの利用者様の自然な笑顔を生み出せるようコミュニケーションをとり、新人らしく元気にポジティブに頑張ります。宜しくお願いします。



すぐり ひさみ
村主 壽巳 (2月1日入職)
我楽(さぼーと) パート

3月より我楽で勤務させて頂いています。未経験からのスタートでご迷惑をお掛けすると思いますが、皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



すぎやま かすみ
杉山 和美 (4月1日入職)
ゆらくの里 パート

4月より、ゆらくの里で勤務しています。就職プランクが10年ほどありますので体力が続くか心配ですが、なんとかなる！の気持ちで一緒に活動できればと思います。宜しくお願いします



★★★★ お知らせ ★★★★★

『障害者支援施設ゆらくの里』では、ご利用者の皆さんに日々の食事を楽しんで頂くため、管理栄養士のもと献立に力を入れ、季節を感じられるメニューなどの提供を行っています。詳しくはホームページの「お知らせ」にて随時公開しておりますので、是非ご覧ください☆



ホームページ



4月3日の昼食「桜そば」

通所事業 家族会「愛の会」よりご寄付いただきました。

通所事業（今人・我楽・すみれの里）家族会「愛の会」より、令和2年度分の家族会活動としてご寄付を頂きました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、予定していた行事や活動が出来なかったことを受け、感染防止対策等に役立てて欲しいとの趣旨のもと、家族会を代表して、令和2年度 会長の武内様よりご寄付を頂戴することとなりました。

いただきましたご寄付は、日頃のご利用者支援や感染防止対策等で活用させていただきます。

「愛の会」の皆様、本当にありがとうございました。
心よりお礼申し上げます。



《ありがとうございました》

多くの方よりご寄附をいただきました。皆様方からの寄附を施設整備など、有効に活用し、ご利用者のために使用させていただきます。

《個人》

三島茂子、飯原隆美、久世博子、牧村元嗣、増尾明広、藤井宏美、匿名希望1名

《業者ほか》

(株)ステップワン、(株)タクサン、(株)田原建設

(順不同・敬称略)

《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。
寄附金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

《編集後記》

早いもので桜も散り、近くの二上山も新緑に輝いています。春の陽気に誘われて「どこかに出掛けたい！」そんな気分にもなりますが、中々遠出もできないので、今年はどこか近い場所でたくさんの春を感じたいと思います。

発 行： 社会福祉法人 以和貴会
住 所： 〒639-0261
奈良県香芝市尼寺6 1 6 番地
編集責任者：理事長 下村 卓司
M a i l： office@yuraku.or.jp
発 行 月： 令和3年4月